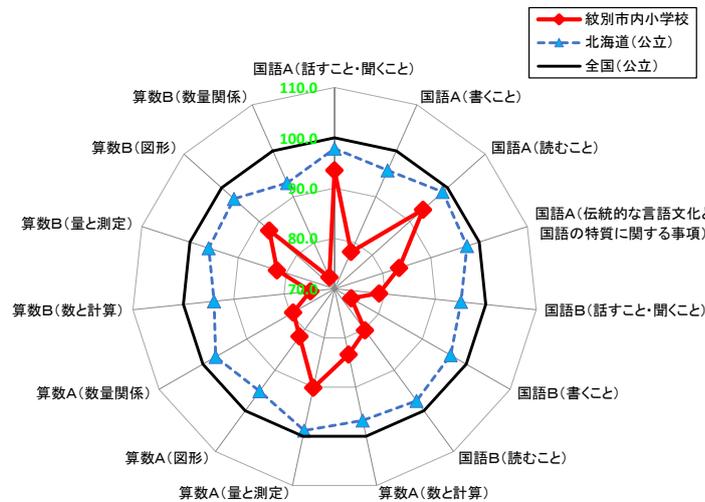


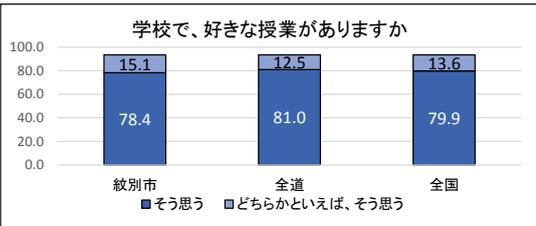
■紋別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6、児童数:139名)

【教科全体の状況】

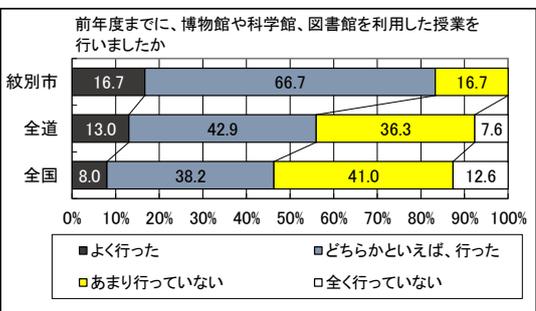
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



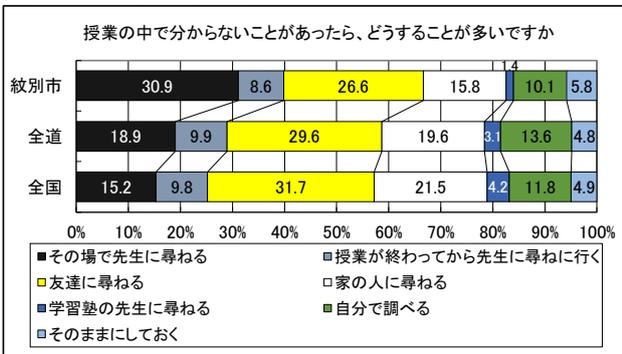
【児童質問紙調査】



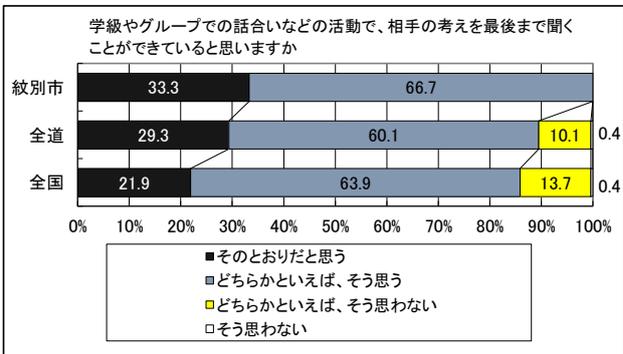
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。	○ 博物館や科学館、図書館を利用した授業を行い、児童に多様な学習機会を提供したことにより、学習することへの興味・関心を高めることができたと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」の質問に「その場で先生に尋ねる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 普段から積極的に授業で分からないことを教員に尋ねたり、学級やグループで話し合う際に最後まで相手の考えを聞いたりすることにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」の正答率が向上したと考えられる。
学校質問紙	○ 「学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思う」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

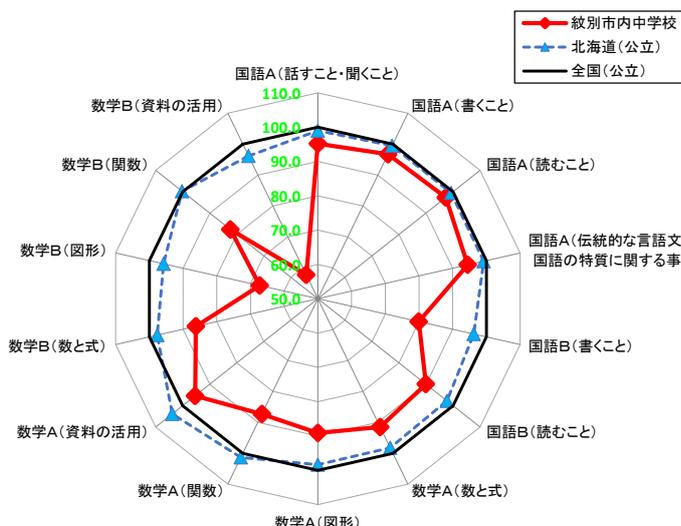
【紋別市の学力向上策】

- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 小学校学習サポーターの導入
- ◎ 長期休業集中「夏休みパワーアップタイム」開催
- ◎ 学校図書館巡回司書の配置
- ◎ 「家庭学習の手引き」・「生活習慣の手引き」の配布
- ◎ 教職員研修事業の推進

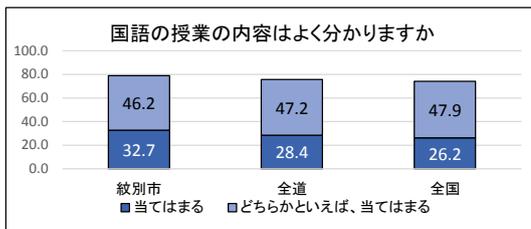
■紋別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:171名)

【教科全体の状況】

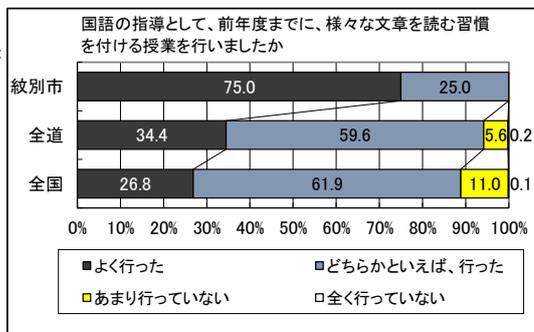
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



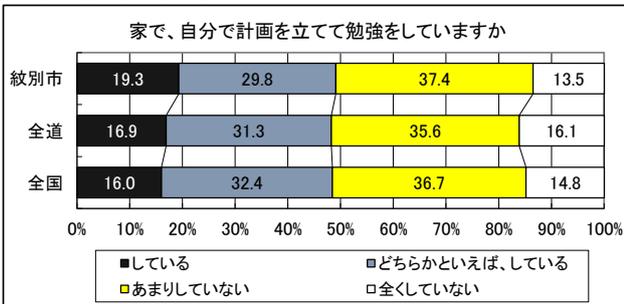
【生徒質問紙調査】



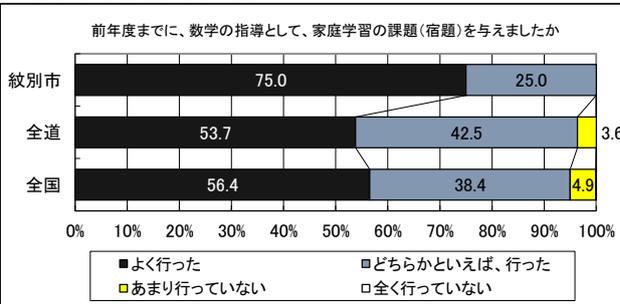
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導において、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行うことにより、生徒の国語に対する興味・関心・意欲を高めることにつながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導において、生徒一人一人の実態を踏まえた家庭学習の課題(宿題)を与えたことにより、生徒に主体的に学ぶ意欲が喚起され、家庭で、自分で計画を立てて勉強するようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【紋別市の学力向上策】

- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 「家庭学習の手引き」・「生活習慣の手引き」の配布
- ◎ 学校図書館巡回司書の配置
- ◎ 教職員研修事業の推進